

経済社会学会第41回全国大会プログラム

2005年9月17日(土)、18日(日)

【共通論題テーマ】

多元社会のガバナンス —— 貨幣・コミュニケーション・規範 ——

国家であれ、地域であれ、組織であれ、宗教的信仰・道徳的規範・文化的価値などの面で多様な価値基準をもった人々が日常的・恒常的に構成員となるという時代の流れは、不可逆的な過程であるように思われる。また、そうした多元性・多様性に積極的な価値を認める点では、ほとんどの人々が一致しているようにも思われる。しかし同時に、人々の集まりがかりにも「社会」と呼びうるためには、そこには自生的・人為的を問わず一定の秩序(あるいは統治状態)が生成されていなければならない。多元性の確保と秩序の生成という二つの課題を同時に解決する原理が求められていると言えよう。

市場における競争が「見えない手」に導かれて、その課題を解決するという牧歌的な主張が、現代の市場社会が抱える問題に取り組むに当たって、ほとんど解決になっていないことは、いまでは衆目の一致するところであろう。また同時に、人為的に計画され運営される社会システムへの信服はそれ以上に破綻していることも紛れのない事実である。貨幣に媒介される市場交換を資源配分機構として用いながらも、なおそれに従属しない「人間の経済」を構築する方向性が、残された選択肢であるように思われる。

実際、ポランニー的に表現するなら経済の社会への埋戻しとして理解できる試みが、数多くなされている。たとえば地域通貨の導入の試みは、貨幣的交換という自己組織的過程を地域の中に埋め込もうとする点で、非常に興味深い試みである。またNPOやNGOなどいわゆる「社会的経済」なる組織形態への関心の高まりもあげられる。さらに経済や行政のパフォーマンスそのものが、非市場的に形成されるネットワークとしての「社会関係資本」に大きく依存しているという事実の発掘も看過できないだろう。市場固有の働きを生かしつつ、しかしそれに呑み込まれない社会統治(ソーシャルガバナンス)を生成するオートポイエティックな仕組みを解明していくことが、経済と社会の境界領域を研究する者に課せられているアジェンダの一つであるように思われる。

過去数年の本学会の共通論題を通覧すれば、こうした問題意識が底流にあったことが明らかである。「二元的秩序の超克—市場と国家を超えて—」、「第3の道の経済社会学—Good Societyの原理を求めて—」、「市場から社会へ—ソーシャル・キャピタルの再構築」といったテーマは、いずれも市場経済に依拠しつつも、市場に呑み込まれない多元社会のあり方を模索したものである。今大会では、その問題意識をさらに前面に出し、多元社会の秩序を可能にする原理を考えてみたい。とりわけ社会統治の生成に当たって貨幣・コミュニケーション・規範が果たす役割に焦点を当てることができればと願っている。

□ □ □

開催地 : 同志社大学今出川キャンパス
〒602-8580 京都市上京区烏丸今出川東入ル

大会事務局 : 同志社大学商学部 森田雅憲 研究室
(TEL) 075-251-3717 (または 070-5507-0437)
(e-mail) mmorita@mail.doshisha.ac.jp

経済社会学会 第41回全国大会プログラム

第 1 日 (9月17日)			
	第1会場 (S会議室)	第2会場 (S33)	第3会場 (S34)
9:00～ 9:15	開会の辞 (S32: 二村重博大会実行委員長)		
9:20～ 10:10	<p>パネル1 (地域通貨) コーディネーター: 角村正博 (神戸学院大学) 基調報告: 中里裕美 (立命館大・院) パネリスト: 郡寫 孝 (同志社大学)</p>	<p>自由論題 2-1 「戦後ドイツ公的年金保険制度の考察— 制度枠組の形成・展開の思想的背景—」 報告: 森 周子 (一橋大学・院) 座長: 小林甲一 (名古屋学院大学) 討論: 永合位行 (神戸大学)</p>	<p>自由論題 3-1 「シュンペーター体系における不安定性の 役割—企業者と企業組織のイノベーション—」 報告: 高橋一正 (南山大学・院) 座長: 二村重博 (同志社大学) 討論: 宇佐見義尚 (亜細亜大学)</p>
10:20～ 11:10	<p>〃 : 瓢 芳夫 (21世紀ヒューマンゲ 研究機構) 〃 : 福田順子 (城西国際大学)</p>	<p>自由論題 2-2 「持続可能な社会厚生指標を求めて— GDPパラダイムからGPI/ISEWパラダイ ム、そしてHSM(人間満足の尺度)へ—」 報告: 大橋照枝 (麗澤大学) ホン・グエン (東京大学・院) 座長: 織田輝哉 (慶応大学) 討論: 福田 亘 (神戸大学)</p>	<p>自由論題 3-2 「日本の近代: 未完のプロジェクター—チャ ールズ・テイラーの『近代社会像』を中心 に—」 報告: 森田明彦 (長崎ウエルヤン大学) 座長: 豊山宗洋 (大阪商業大学) 討論: 大野正英 (モラルロジー研究所)</p>
11:20～ 12:10		<p>自由論題 2-3 「高齢期における「喪失」への対応 - 老 人クラブの活性化をめぐる—」 報告: 李 義昭 (追手門学院大学) 座長: 足立正樹 (神戸大学) 討論: 村上寿来 (神戸大学)</p>	<p>自由論題 3-3 「多元的社会における民主主義と正義—アイ リス・ヤングの民主主義理論をてがかりに—」 報告: 石黒 太 (早稲田大学・院) 座長: 初川 満 (横浜市立大学) 討論: 大西秀典 (尾道大学)</p>
昼食 (S30で準備)			
13:00～ 13:50	<p>自由論題 1-1 「多様な発話状況とコミュニケーション 規範—多元社会における自己決定—」 報告: 合田香奈子 (早稲田大学・院) 座長: 唐澤和義 (杏林大学) 討論: 佐々木 亘 (鹿児島純心女子短大)</p>	<p>自由論題 2-4 「グローバル資本主義の時代における消 費者の表象—ポストモダン・マーケティング 理論の言説分析—」 報告: 松川誠一 (東京学芸大学) 座長: 間々田孝夫 (立教大学) 討論: 佐々木 実雄 (日本大学)</p>	<p>自由論題 3-4 「経済システムと生活世界—生の現象学と ルーマンからの視角—」 報告: 廣重剛史 (早稲田大学・院) 座長: 藤岡秀英 (神戸大学) 討論: 杉野 勇 (お茶の水女子大学)</p>
14:00～ 14:50	<p>自由論題 1-2 「ソーシャル・キャピタルの減耗に関 する—考察—」 報告: 稲葉陽二 (日本大学) 座長: 田中 人 (亜細亜大学) 討論: 若林直樹 (京都大学)</p>	<p>自由論題 2-5 「消費による差異化の分析」 報告: 寺島拓幸 (立教大学・院) 水原俊博 (立教大学) 座長: 上沼正明 (早稲田大学) 討論: 野方 宏 (静岡大学)</p>	<p>自由論題 3-5 「不安の共有」 報告: 本柳 亨 (早稲田大学・院) 座長: 内山隆夫 (京都学園大学) 討論: 間々田孝夫 (立教大学)</p>
Coffee Break (S30で準備)			
15:20～ 16:50	招待講演: 西部忠 (北海道大学) (M1)		
16:50～ 17:50	総会 (M1)		
(懇親会場へ移動)			
18:00～ 20:00	懇親会 (寒梅館7F Second House Will)		

第 2 日 (9月18日)			
	第 1 会場 (S 会議室)	第 2 会場 (S33)	第 3 会場 (S34)
9:20~10:10	パネル 2 「産業クラスターにおけるネットワーク・ガバナンス」 コーディネーター：若林直樹 (京都大学)	準共通論題 2-1 「貨幣と生活世界」 報告：今枝俊哉 (早稲田大学・院) 座長：吉澤昌恭 (広島経済大学) 討論：水原俊博 (立教大学)	準共通論題 3-1 「多元社会における公的宗教」 報告：藤本龍児 (京都大学・院) 座長：山田 秀 (南山大学) 討論：保坂俊司 (麗澤大学)
10:20~ 11:10	司 会：松岡憲司 (龍谷大学) パネリスト：若林直樹 (京都大学) 〃：中野勉氏 (関西学院大学) 〃：稲垣京輔 (横浜市立大学) 〃：山田仁一郎 (香川大学)	準共通論題 2-2 「貨幣と社会統合」 報告：清家竜介 (早稲田大学・院) 座長：恩田守雄 (流通経済大学) 討論：橋本昭一 (関西大学)	準共通論題 3-2 「制度と秩序—ヴェブレン・ハイエク・オイケン—」 報告：鉢野正樹 (北陸大学) 座長：中矢俊博 (南山大学) 討論：古賀勝次郎 (早稲田大学)
11:20~ 12:10	〃：藤本昌代 (同志社大学)	準共通論題 2-3 「第三の道とグッド・ソサエティ」 報告：福田敏浩 (滋賀大学) 座長：戸田信正 (同朋大学) 討論：東條隆進 (早稲田大学)	準共通論題 3-3 「規範の変容と多元性について—現代日本語文法を実例にして—」 報告：角田史幸 (秀明大学) 座長：中島裕明 (早稲田大学) 討論：尾上 正人 (奈良大学)
	昼食 (S30 で準備)		
13:30~ 14:30	共通論題基調講演 (M1：佐伯啓思)		
14:40~ 16:40	共通論題パネルディスカッション(M1) コーディネーター：田村正勝 (早稲田大学) パネリスト：佐伯啓思 (京都大学)、春日淳一 (関西大学)、間々田孝夫 (立教大学)、安田雪 (東京大学)		
16:50~ 17:00	閉会の辞および事務連絡等(M1：郡島孝・森田雅憲)		

※S は至誠館、M は明德館。数字は教室番号。

- 報告レジュメ集は、当日受付にて手渡し致しますが、前もってお読みにになりたい場合は、下記アドレスまでアクセスしてください (会員のみにアクセス制限しています)。

<http://animus.doshisha.ac.jp/es/resume.html>

- 会場へのアクセス：<http://www.doshisha.ac.jp/daigaku/koutsuu/noflash/index.html>を参照ください。
地下鉄烏丸線今出川駅下車すぐ

■第 4 1 回全国大会実行委員会

委員長：二村重博、 大会顧問：群嶋 孝

委 員：堀川健太郎、正木 卓、松岡憲司、森田雅憲*、永合位行*、尾上正人*、角村正博*、若林直樹*
(*はプログラム委員)

以上